

教科目名 景観デザイン (Landscape Design)

学科名・学年 : 機械・環境システム工学専攻 1年

単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 亀野 辰三

授業の概要			
<p>近年、わが国のまちづくりや都市施設づくりにおいては、周辺の街並みや自然環境との調和をめざした「景観デザイン」は必須の知識と考えられている。そこで、本講義では、わが国の景観と他の先進諸国との景観を比較することで、わが国民の景観に対する無関心さに警鐘を鳴らしたい。また、多変量解析等の景観分析手法も解説し、実際の評価実験結果を用いて、景観評価分析の基礎を学ぶ。そして、景観デザインの中でも、特に、街路、街路樹、ストリートファニチャー等の景観設計におけるポイントを解説する。</p>			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (E1), JABEE 目標 (d2a)	
<p>(1) 景観の分析手法, 特に多変量解析を理解し, ケースに応じた使いわけができる。(定期試験) (2) 公共施設がおかれるさまざまな環境の中での景観上の問題を思考することができる。(レポート) (3) フィールドワークを通じて, 景観デザイン上の問題を発見できる。(レポート) (4) プレゼンターと討論できる。(プレゼン)</p>			
回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	1. 景観概説	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の景観と世界の景観について, その特徴を理解する. ○日常生活圏の景観問題について理解する. ○景観三法の背景と意義, 制度内容について理解する. ○わが国の郊外景観の特徴がロードサイド商業と密接な関係にあることを理解する. ○街路と歩道の環境デザインについて, その特徴を理解する. ○共同溝が景観向上に寄与することを理解する. 	【理解の度合い】
2	(1) 景観の定義		
3	(2) 生活圏の景観問題		
4	(3) 景観法		
5	2. わが国の郊外景観		
6	(1) 郊外景観の特徴		
7	(2) 大店法と大店立地法		
8	3. 街路の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○分からなかった箇所を理解し, バリアフリー・ユニバーサルデザインの考え方を理解する. ○街路樹デザインについて, 樹種の選定方法について理解する. ○高木の種類と特性を理解する. ○ストリートファニチャーについて, プレゼンを行い, 景観の表現法を学ぶ. ○景観分析手法について, 特に重回帰分析等の多変量解析を理解し, 課題演習を行う. 	【試験の点数】 点
9	(1) 街路と歩道の環境デザイン		
10	(2) 共同溝		
11	前期中間試験		
12	前期中間試験の解答と解説		
13	(3) バリアフリー・ユニバーサルデザイン		
14	4. 街路樹		
15	(1) 街路樹の機能と効用, 樹種の選定		
16	(2) 高木の樹種の特徴と性質		
17	5. ストリートファニチャー		
18	(1) プレゼンテーション		
19	6. 景観の評価		
20	(1) 街路樹景観の評価		
21	(2) 景観分析手法		
22	前期期末試験	【試験の点数】 点	
23	前期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	(1) 参考図書を輪読するので, 受講者は事前に各自で購入しておくこと. (2) 夏休みにストリートファニチャーに関するレポートを課す.		【総合達成度】
教科書	石井一郎編著, 『都市景観の環境デザイン』, 森北出版		
参考図書	松原隆一郎, 『失われた景観』, PHP 新書		
関連科目	交通システム工学, 環境計画, 都市計画, 地域計画学, 計測工学		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について定期試験とレポート及びプレゼンテーションで評価する. 総合評価=0.7×(2回の定期試験の平均)+0.3×(レポート&プレゼン) なお, 授業態度により, 評価点からその20%を上限として減点する. 総合評価が60点以上を合格とする.		